

70

1

2004
NO.600



今年は申年

保育所の園児たちが、今年の干支「申」カシラを作りました。
(日野保育所ちき・さくら組の園児)

このむらは みんな元気

地図にない村「菅福元気邑」。自分たちの手で地域の自立をめざし、様々な活動に取り組んでいます。広報12月号（上巻）では、農産物加工品づくり（菅福食文化伝承館）、都市との交流（里山ものづくり大学）、炭づくり（里山ものづくり塾）を紹介しました。今月（下巻）は、引き続き菅福元気邑を特集し、地域の伝統文化の伝承、紅葉温泉を紹介します。

地図にない村
菅福元気邑
すげふくげんきむら

地域の文化を 残していきたい

鈴の音が響きわたる傘踊り、厄よけ伝統行事「ホトホト」など菅福地区には古くから伝わる伝統文化があります。地域の伝統文化の火を消すことなく、次代に伝えていこうと、まちの催しに積極的に参加する「傘踊り」。一昨年、25年ぶりに復活した「ホトホト」。地域づくりに一役かっている伝統文化を紹介します。

歯切れの良い鈴の音
古くから伝わる傘踊り

シャン、シャン、シャン。
歯切れの良い鈴の音が響きわたる菅福傘踊り。

傘踊りは、菅福地区に古くから伝わる伝統的な踊りで、今でも地域の伝統文化として受け継がれています。

傘踊りのメンバーは、現在10人程度。稲田喜代子さん（上菅）は「以前は、みんなが集まって練習し、とてもにぎやかでした」と話します。

昔は多くのメンバーが体育館に集まり、夜遅くまで和気あいあいと練習に励んでいましたが、今ではさびしくなりました。しかし、子どもたちがこの伝統文化を受け継ぐことががんばっています。



伝統文化を受け継ぐ黒坂小の児童たち

子どもたちが伝承
受け継ぐことの大切さ

菅福小学校では、15年以上前から地域の伝統文化を受け継いでいこうと、傘踊りと銭太鼓を全校児童で取り組んでいました。

菅福小学校は、平成13年度に黒坂小学校との統合で廃校



シャン、シャンと鈴の根が響きわたる傘踊り



25年ぶりに復活したユニークな厄よけ行事「ホトホト」



住田茉也乃さん（黒坂小学校2年生）

下級生に教えてあげたい

学校で傘踊りや銭太鼓を楽しく踊っています。今ではどちらも上手に踊ることができるようになりました。上級生になったら下級生に踊り方を教えてあげたいです。

になりましたが、新しい黒坂小学校では「両校の伝統を引き継いでいこう」と、現在でも全校児童が傘踊りや銭太鼓の伝統文化を継承しています。同校の青戸哲範校長は「文化を受け継ぐということはとても大切なことです。多くの人に踊りを指導していただくなど地域とのきずなも深まりました」と話しています。

25年ぶりに復活

伝統行事「ホトホト」

その年に厄年を迎えた人の厄を払う伝統行事の「ホトホト」が、一昨年、菅福地区で25年ぶりに復活しました。

「ホトホト」は神様が扉をたたく音といわれ、数え年で60歳の還暦や42歳の厄年を迎えた人の家に厄よけの品物を届

け、お礼の品物を受け取って帰る時に厄がつかないように水をかけて神様を見送るユニークな厄よけ行事です。

地域の文化を

次代に伝えたい

菅福地区の一部で25年前までは行われていましたが、地域の担い手が少なくなつたことから廃れていきました。

「ホトホト」を復活させ、地域の活性化につなげようと思いついたのが西村文作さん（福長）を始めとする地域の皆さんたち。代表の西村さんは「復活させ、本当に良かったと思えました。当時のところを知る人が少なくなりましたが、地域の良き伝統を次代に伝えていきたいです」と話していました。

県外から日野町へ

企業進出・温泉水の活用など



特集 地域の自立
菅福元気邑下巻

行動することが大切

安部達範さんにインタビュー

— 昨年の8月、島根県に本社を持つ、災害復旧などの法面型枠を生産する株式会社フレクションフレームが日野町福長に進出しました。

同社代表取締役の安部達範さんは、同工場建設中にゆう出した温泉を活用し、温泉水の販売など積極的に事業を展開。地域の資源を活用し、地域の活性化を目指す安部さんに話を聞きました。



平成14年8月に進出した福長工場

企業進出から2年
注文も多く全国へ出荷

— 昨年、日野町福長に株式会社フレクションフレームを進出させ、松江市から日野町に移り住み2年が過ぎました。同会社は、道路、災害復旧などの法面保護に用いる型枠を生産。日本で4社しかない会社で、松江市に本社があります。現在、福長工場は、従業員4人とパート3人で操業。注文も多く全国各地に製品を出荷しています。

都市部の人から見れば
恵まれた自然は魅力
進出地は、交通の便が良いなどの条件に合う地域を探しました。何件か候補地を見て



「温泉で地域が活性化できたら」と安部さん

回りましたが、その中でも福長は、比較的高速道路に近かったことと、私自身、自然が好きだということもあり、ここに工場を建設しようと決めました。都市部に住む人たちから見れば、この恵まれた自然はとて魅力的です。

偶然的な温泉ゆう出
資源を生かして活性化

工場建設地のボーリング中、偶然に温泉がゆう出しました。関金や三朝温泉と同質で、約29度の温泉が1日約86トンわき出ています。

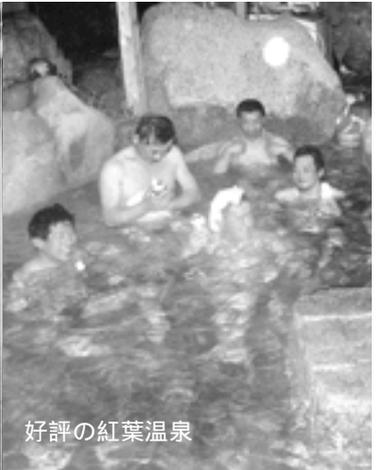
当初、職員の研修施設として建物を作ったのですが、多くの人から「温泉に入って体調が良くなった」などと喜んでもらったり、湯をくみに来

る人が増えてきたこともあって販売を考えました。昨年7月から温泉水を販売。その数は徐々に増え、半年で県内外から500人以上の固定客ができました。

今後は、もっと温泉の湯を活用できたらと思います。例えば、老人保健施設や病院などへの提供も考えています。温泉によって地域が活性化してくれればうれしいです。

地域の特性を生かした
ものづくりに挑戦

地域の皆さんとも交流が深まり、炭づくりや正月用もちの販売など地域の特性を生かしたものづくりに挑戦しています。また、地元の方に協力していただいて温泉水と



好評の紅葉温泉

もちの販売にも挑戦



県内外から多くの人湯を買いに訪れる



増田慎吾さん(安来市)

みんなで考えること
行動することが大切
この地域には、たくさん
の機会だと思えます。

温泉水はとても魅力的

ここの温泉水を飲み出してから体の調子も良くなりました。紅葉温泉は、とても魅力があるので、地域が一丸となって野菜の即売など参加すれば、もっとにぎやかになると思います。

資源・魅力があります。炭やもち販売も、みんなが集まって話をする中からアイディアが生まれました。自分たちができることから始めれば、いいのではないのでしょうか。「まず行動すること」が大切だと思います。これからも地元にとだわり、いろいろなことに挑戦していきたいです。

特集「地域の自立」
12月号と1月号の2回に分けて特集を組みました。取材中多くの人に話を聞きました。その中でも印象に残ったのは「どの地域にも自立できるチャンスがある」という言葉。私たちの身の周りには、たくさん魅力があります。これからも地域の魅力を探していきたいと思えます。

迎春 新年の抱負

日野町長 梅林 豊

明地峠から見た雲海



住民一人ひとりが主役 合併に向けて本格的に取り組む

新

年明けましておめでとございます。皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新春を迎えられたこと、心よりお慶びを申し上げます。

昨年は、町政の重要課題である福祉、医療、農林業の振興、生活環境の整備、市町村合併などに積極的に取り組んできました。

なかでも11月には、鳥取県

西部地震の復興宣言。12月には、震災以来、今まで不通となっていた久住地区と黒坂地区を結ぶ県道菅沢日野線の開通式を行うことができました。地震発生から3年間、住民の皆さんと一体になって復興に取り組む、まちは元気な姿に生まれ変わりました。この間、多くの方々からご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、国においては三位一体の改革が推進され、地方交付税（平成14年度一般会計の決算では約44%を占める）や補助金の削減をはじめ、公共事業などのハード事業の採択が難しくなっています。

このような厳しい財政状況の中、本町は、超高齢社会を迎えようとしています。また、平成16年度から米政策改革大綱が実施され、農業も大きな転換期を迎えています。

この地域を守り、発展させていくためには、住民の皆さんにもっと行政に関心を持っていたいただき、一人ひとりが主役になることがとても重要であると思っています。

これからも恵まれた自然と共生を図り、皆さんが健康で安心して住める快適なまちづくりを実現するために、江府町との合併を重要課題と位置づけて本格的に取り組んでいきます。

また、福祉、情報基盤、生活環境、産業の振興に力を注いでいきます。そして、元気な地域や各種団体などに対しましては、できる限りの支援をする考えであります。

今後とも、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2003年
こんな
年でした

昨年（平成15年）の日野町の1年を振り返る

まちの2003

まちのできごと

- 1月 町消防出初め式（5日） 第27回町人権・同和教育研究会（24日）
- 2月 町生涯学習まちづくり大会（23日）
- 4月 県議会議員一般選挙日野郡選挙区選挙、生田秀正さん・内田博長さんが当選（13日）
町議会議員一般選挙が行われ、新しい議員12人が決まる（投票率87.65パーセント）
- 5月 臨時議会で、議長に佐々木秀明さん、副議長に竹永明文さん決まる（23日）
- 6月 大規模林道日野・金城線が開通（6日）
市町村合併座談会（9・10日） 町社会福祉協議会が設立25周年を迎え福祉大会を開く（21日）
- 7月 合併協議会設立準備会を開設（1日）
西部消防ポンプ操法大会で町消防団がポンプ車の部で優勝（6日） ひの歩け歩け大会（22日） ねう祭り（19日） 第26回鶉の池マラソン大会、500人が力走（27日）
- 8月 町成人式、56人が決意新たに（15日）
住民基本台帳カード発行開始（25日） 黒坂納涼まつり（16日） 指画家濱田壽峰さんが郷里がえり展を開く（21日～24日）
- 9月 町民体育祭（根雨地区）に400人参加（28日） 全町一斉クリーン作戦（21日）
- 10月 全町一斉防災訓練に2千人が参加し、防災意識を高める（6日） 滝山公園紅葉マツタケまつりに1,700人（12日） 健康フェスティバルひの（19日） 生きいき「ひの」ふれあいまつり（25・26日）
- 11月 第1回おしどりマラソン全国大会（2日） 第20回中国マスターズ駅伝大会（16日）
町表彰式（20日）
- 12月 県道菅沢日野線が開通（5日） 出雲街道根雨宿が開店3周年（7日） 町公民館まつり（4日～10日）



8月1日、江府町との市町村合併に向けて合併協議会を江府町に設置。



11月30日、震災復興記念式典を開き、鳥取県西部地震からの復興を宣言。

国・世界の主なできごと

- 北朝鮮の核開発めぐり6か国協議
- スペースシャトルが空中分解
- 新型肺炎（SARS）が世界的流行
- 米英のイラク戦争
- 宮城県北部で震度6強を観測
- 有事関連法・イラク支援特措法成立が設立
- 阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝
- 自民党総裁に小泉首相再選
- 中国が初の有人宇宙船打ち上げに成功
- 松井秀喜選手が大リーグで活躍



4月6日、県内では初めて緊急消防自動二輪（赤パイ）を導入。



2月22日、日野郡4町の広域で日野郡男女共同参画連絡会を設立。

町議会

臨時議会・定例会

第7回町議会臨時議会が11月27日、第8回町議会定例会（12月議会）が12月16日から22日まで開かれました。

第7回臨時議会では、町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例や町職員の給与に関する条例の一部改正など10議案を審議。一般会計は人事院勧告による町職員給与の減額など1500万円を減額補正しました。

第8回町議会定例会では、一般会計補正予算、特別会計補正予算など15議案を審議しました。この結果、一般会計予算は7949万7千円を追加し、総額37億50万6千円になりました。

主な一般会計予算（第8回町議会定例会）を紹介

【総務費】日野伝人支援事業 20万円

【民生費】住宅復興支援補助事業（事業完了による減） 1200万円

資金繰上償還 1050万円
災害援助 715万円

日野病院組合事務 715万円（平成14年度赤字補てん負担金）

みんなの ひろば

夜間の外出には反射材の着用を

街頭広報で事故防止を呼びかける

事故のない明るいまちを目指そうと、「年末の交通安全県民運動」初日の12月16日、根雨地区のショッピングセンターの駐車場で、交通安全街頭広報が行われました。



「交通事故に気をつけて」と呼びかける

町交通安全対策協議会（会長＝梅林豊町長）のメンバー20人が参加。買い物客などに「夜間の外出時は反射材を必ず身につけて」「シートベルト・チャイルドシートの着用の徹底を」「高齢者の交通事故を防止しよう」と、チラシを手渡ししながら交通事故防止を呼びかけました。

また、街頭広報後には、町内約40か所の飲食店を対象に、飲酒運転防止を呼びかける事業所訪問が行われました。

同会員らは「年末年始は、飲酒の機会が増えます。お酒を飲んだら絶対に運転しないように」と飲酒運転の追放を呼びかけました。

野田地区の

集会所が完成

野田みちくさの館

1月10日、野田地区にふれあいセンター「野田みちくさの館」（山脇勉自治会長）が完成。同地区関係者などが出席し、竣工式が行われました。

同地区では、地域の問題、課題を考えようと、これまでアンケート実施や話し合いをしてきました。その中で「地域の活性化には、みんなが集まれる場所が必要」という意見があり、「コミュニティ活動の拠点施設として、宝くじの助成金を使い整備しました。山脇自治会長は「施設を中心に地域の交流、きずなを深めたい」と話していました。



活動拠点として期待される

七草がゆを食べて元気いっぱい

正月の伝統行事「七草がゆ」



「おいしいよ」と七草がゆを食べる園児たち

今年一年の無病息災を祈るうと、1月7日、町内3保育所で「七草がゆ」が振る舞われました。

黒坂保育所では、園児たちが、セリ、ナスナ、ゴキョウ、ハコベ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの七草について学び、昼食には、七草がゆを全員で食べ、一年の健康を祈りました。園児たちは「今年も元気でたくさん遊びたいです」と抱負を話していました。

獅子舞いで新年が明ける

多くの参拝客が訪れる金持神社

平成16年の新春を迎えた1月1日、全国でも一つしかない縁起の良い名前が知られる「金持神社」の初詣に、県内外から多くの人が訪れ、にぎわいました。

毎年元旦には、地元の金持青年会による「獅子舞い」が登場するとあって、一目見ようと境内は参拝客でいっぱいになりました。獅子舞いは、境内で奉納の舞を終えると、無病息災を祈願して同地区の

家々を回りました。

同地区の梅林勤さんは「気が一番。今年も健康な年にしたいです。獅子舞いは地域の伝統文化。地域の若者にはこれからもがんばってほしいです」と話していました。



家々を回り無病息災を祈願

ふるさとの

味と心を送る

ふるさと便を全国へ発送
 都会に住む人たちに、ふる
 さとの特産品を味わってもら
 おうと、12月23日、二二二コ
 朝市グループ（遠藤初枝代表）
 が、まちの特産品が詰まった
 「ふるさと便」を全国へ発送
 しました。

この日は、同会員17人が集
 まり、もち、米、コンニャク
 など会員らが心を込めて作っ
 た品物を箱に詰めました。

遠藤初枝さん（榎市）は
 「ふるさと便は会員が心を込
 めたこだわりの味。全国各地
 に日野町を知ってもらい、ま
 ちの活性化につながればうれ
 しいです」と話していました。
 ふるさと便は、今回で10年
 目を迎え、当初30個だった注
 文も、今では2百個を超える
 人気になりました。



まちの特産品をつめる



日野川に向かって一斉放水する町消防団員ら

決意新たに今年の防災を誓う

新春を飾る町消防出初め式

今年一年の防火、防災を願
 い、町消防出初め式（宮脇光
 男団長）が、1月4日、黒坂
 小学校校庭で行われました。

式では、梅林町長が「昨年
 は、消防団の活躍により大き
 な災害にならなかつたことに
 感謝します。今後ともまちの幸
 せを守ってもらいたい」とあ
 いさつ。宮脇団長が「これか

らも地域住民の生命、財産を
 しっかりと守っていききたい。

今年の日野町の名前で出場で
 きる最後の全国操法大会の年。
 各分団とも総力をあげて全国
 大会のキップを手にしてほし
 い」と新年の決意を新たにし
 ました。

式後は、町公民館前まで団
 長を先頭に団員、ポンプ車な

ど6台が参加し、分列行進が
 整然と行われました。そして
 黒坂カワコふれあい公園に移
 動し、日野川に向けて一斉放
 水を行い、今年一年の防災を
 誓いました。

今回表彰を受けられた方は
 次の方です。（敬称略）
 おめでとございます。

【町長表彰】

20年勤続〃西村和行 9年
 勤続〃小川直生、新田裕介
 6年勤続〃佐野精彦 3
 年勤続〃奥田研二、山田勝
 則、上妻裕二、伊田達彦

【県知事表彰】

功績章〃長尾守、大原保、
 高橋八郎

【団長表彰】

山川洋介、佐々木幸人、宮
 脇慎治、西村敏幸、矢田貝
 智章、小谷勉

【日本消防協会会長表彰】

勤続章〃安達幸博、廣川光
 保、佐々木吉弘

【県消防協会会長表彰】

功績章〃後藤一則
 勤続章〃西村和行

【県西部消防協会会長表彰】

功績章〃佐々木信也、小谷
 晋 勤続章〃坂越政宏、田
 辺正男



功績のあった団員が表彰される

確定申告

確定申告は正しくお早めに

確定申告の時期になりました。所得税、住民税の申告は2月16日から3月15日までです。期間中に正しい申告をしましょう。

1年間の所得を確定 税金の過不足を精算

所得税、住民税の申告は、1年間（平成15年1月1日から平成15年12月31日まで）の所得金額を確定させるとともに、所得税については、計算した税額と給与や利子などの所得について、源泉徴収された税額や予定納税した税額などの総額と比べて、税金を納め過ぎているのか納め足りないのかを計算して精算します。

申告の受付は 対象地区ごとに

確定申告は、平成16年度の町県民税、国民健康保険税などの税金を計算する重要な資料となりますので、期間中

（2月16日から3月15日まで）に正しい申告を行ってください。

申告日は、左ページの表「確定申告の日程」のとおりです。日によって対象地区を振り分けていますので、できるだけ指定された日に申告をしてください。

申告が必要な人

次のいずれかに当てはまる人は申告が必要です。

【給与所得者でない人】

事業所得（農業、商業、工業など）のある人。

不動産所得等（土地代、家賃、配当など）のある人。

【給与所得者の人】

給与所得者の所得税は、年

末調整によって精算されるので、確定申告の必要はありませんが、次のような人は申告が必要です。

給与の年収が2千万円を超える人。

2か所以上から給与を受けている人。

給与所得者で、年末調整した給与以外に収入のある人。雑損控除などを受けようとする人。



確定申告の日程

できるだけ日程表のとおりに申告してください。

月日(曜)	対象地区		
	午前8時45分～11時	午後1時～4時	会場
2月16日(月)	根雨5区、小原	濁谷、三谷地区	開発センター
17日(火)	門谷	別所、貝原	
18日(水)	金持	津地	
19日(木)	野田	下榎1区	
20日(金)	根雨6区	上本郷	
23日(月)	舟場	根雨3区	
24日(火)	秋縄	下榎2区	
25日(水)	根雨4区、榎市	下本郷、三土	
26日(木)	高尾	板井原、根雨2区	
27日(金)	後谷、根雨1区	安原	
3月1日(月)	根雨地区補足	根雨地区補足	

月日(曜)	対象地区		
	午前9時～11時	午後1時～4時	会場
3月3日(水)	上上菅	福長地区	町公民館
4日(木)	下上菅、中上菅	中菅地区	
5日(金)	黒坂6区、小河内地区	黒坂5区	
8日(月)	黒坂1区	下菅、黒坂下3区	
9日(火)	久住、黒坂7区	黒坂上3区、黒坂4区	
10日(水)	下黒坂地区	黒坂2区	
11日(木)	黒坂地区補足	黒坂地区補足	
12日(金)	予備日		役場
15日(月)	予備日		住民ふれあい課

営庶業の人の相談は
米子税務署へ

今年から申告期間中の米子
税務署員による申告納税相談

がなくなりました。主に営庶業の人で、相談がある場合は、米子税務署(電話0859-324121)に問い合わせてください。

申告に必要なもの
忘れずにご持参ください
申告の時には次のものが必ずご持参ください。

税務署から申告書が送付されている人は、その申告書と事業所得などのある人は同封の収支内訳書。
農業所得がある人は、収支

の内訳がわかる書類。

印鑑

給与、年金などのある人は

源泉徴収票。

医療費控除を受ける人は、支払った医療費の領収書と保険などで補てんされる金額の

明細書。

生命保険料控除、損害保険料控除のある人は、支払った保険料の証明書。

住宅取得等特別控除を受ける人は、登記簿謄本、住民票抄本、工事請負契約書、住宅取得資金に係る借入金年末残高証明書。

公共事業で土地や家屋の買収があった人は買取証明書。

山林、土地の譲渡があった人は、売買契約書。

還付申告の場合には、還付金の振り込み先の口座番号のわかるもの(本人名義の口座)。

問い合わせ先

■役場住民ふれあい課
(電話 72-0333)

■米子税務署
(電話 0859-32-4121)

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月～金 午前9時30分～午後6時
土・日 午前9時～午後5時

図書館情報

カレンダー

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	③	4	5	6	7
8	9	⑩	⑪	12	13	14
15	16	⑰	18	19	20	21
22	23	⑳	25	26	27	28
⑳						

○印が休館日です

展示コーナー

おしどり学園手芸グループ作品展
2月4日(水)～2月28日(土)



映画上映会
3/21(日)

折り梅

oriume

義母がアルツハイマー型痴呆ほうになったことで、崩壊しかけた家族が、さまざまなかつとうを経て、みごとに再生した実話を通して、人間の無限の可能性を描いた作品。全国各地で上映され、感動の嵐を巻き起こしました。主演の原田美枝子さん、吉行和子さんの等身大の演技が胸を打ちます。ぜひご覧ください。

とき 3月21日(日)

午後1時～

ところ 町文化センター

チケット 500円

図書館の催し

木のおもちゃづくり

【とき】 2月15日(日)

午前9時～

布絵本づくり

【とき】 2月9日(月)

午後1時～

図書館おはなし会

【とき】 2月21日(土)

午前11時～

おしらせ

戸籍の届け出時の

本人確認にご協力を

2月1日から、婚姻、離婚、養子縁組など一部の戸籍の届け出の時に、窓口に来られた届け出人の本人確認をします。届け出に来られる時は、できるだけ運転免許証、パスポートなど顔写真付の本人を確認できるものをお持ちください。出産届、死亡届等は本人確認の対象としません。

対象となる届け出の種類など詳しいことは、役場住民ふれあい課(電話72-0333)に問い合わせてください。

町生涯学習

まちづくり大会

町生涯学習まちづくり大会を開きます。お誘い合わせご参加ください。

とき 2月1日(日)

午前9時30分～12時

ところ 町文化センター

内容 小中学生の意見発表

家庭教育講演会

【問い合わせ先】

町教育委員会事務局

(電話72-2107)

西部広域行政管理組合 非常勤職員採用試験

採用職種 県西部広域行政管理組合エコスラグセンター(岸本町)に勤務し、焼却灰等の投入監視業務に従事

採用予定人員 2人

年齢 昭和15年4月2日から昭和24年4月1日までの間に生まれた人

試験日 2月6日(金)

試験内容 作文・面接試験
受付 1月30日(金)まで

【問い合わせ先】

県西部広域行政管理組合事務局総務課(米子市中町) 電話0859-227722

自動車事故による

被害者の方へ育成資金

自動車事故対策機構では自動車事故により死亡された方の子ども(中学校卒業まで)に対して、育成資金を無利子で貸し付けしています。

また、自動車事故によって重度の後遺障害を持つ方に介護料を支給しています。

【問い合わせ先】

独立行政法人自動車事故対策機構鳥取支所業務課(鳥取市丸山) 電話0857-240802

2月 暮らしのカレンダー

FEBRUARY (如月)



1 日	
2 月	不燃・資源ゴミの収集日(黒坂・菅福地区) 町県民税4期分納期限・国民健康保険税7期分納期限 介護保険料7期分納期限 健康相談 町公民館 午前9時~午前10時
3 火	乳幼児相談 開発センター 受付=午後1時15分~午後1時30分
4 水	発泡・蛍光管の収集日(1班)
5 木	発泡・蛍光管の収集日(2班) 心配ごと相談・高齢者生活相談 開発センター・老人福祉センター 午前9時~午後3時 人権相談 開発センター 午後1時~午後3時 年金相談 役場庁舎 午前10時~午後2時
6 金	発泡・蛍光管の収集日(3班)
7 土	
8 日	開発センター休館日
9 月	古紙の収集日(黒坂・菅福地区)
10 火	発泡・蛍光管の収集日(4班) 歯科健診・フッ素塗布 開発センター 受付=午前9時30分~午前9時45分・午後1時~午後1時15分
11 水	可燃ゴミの収集は休みます (建国記念の日)
12 木	発泡・蛍光管の収集日(5班) 不要犬・猫引取り日 日野保健所
13 金	発泡・蛍光管の収集日(6班)
14 土	
15 日	
16 月	不燃・資源ゴミの収集日(根雨・日野地区)

16 月	確定申告日 開発センター 午前=根雨5区・小原 午後=濁谷・三谷地区 健康相談 開発センター 午前9時~午前10時
17 火	すくすく親子教室 開発センター 午前9時30分~午前11時 内容=3B体操でリフレッシュ 確定申告日 開発センター 午前=門谷 午後=別所・貝原
18 水	発泡・蛍光管の収集日(7班) 確定申告日 開発センター 午前=金持 午後=津地
19 木	発泡・蛍光管の収集日(8班) 確定申告日 開発センター 午前=野田 午後=下榎1区
20 金	発泡・蛍光管の収集日(9班) 確定申告日 開発センター 午前=根雨6区 午後=上本郷
21 土	行政相談 開発センター 午前9時~午前12時
22 日	開発センター休館日
23 月	古紙の収集日(根雨・日野地区) 確定申告日 開発センター 午前=舟場 午後=根雨3区
24 火	確定申告日 開発センター 午前=秋縄 午後=下榎2区
25 水	確定申告日 開発センター 午前=根雨4区・榎市 午後=下本郷・三土
26 木	確定申告日 開発センター 午前=高尾 午後=板井原・根雨2区 不要犬・猫引取り日 日野保健所
27 金	確定申告日 開発センター 午前=後谷・根雨1区 午後=安原
28 土	
29 日	

確定申告の時間 午前=8時45分~11時
午後=1時~4時
詳しくは11ページに掲載しています。

直通電話	総務課	72 0331	企画振興課	72 0332
	地域整備課	72 2101	農林課	72 2102
	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103
	給食センター	72 1167	福祉センター	72 2555
	根雨保育所	72 0238	日野保育所	72 1133

住民ふれあい課	72 0333	健康福祉課	72 0334
黒坂支所	74 0211	出納室	72 2105
教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
公民館	74 0212	下榎集会所	72 1191
黒坂保育所	74 0225	夜間・休日	72 0331

～家庭で簡単に作れる料理を紹介～

豆腐・牛肉・トマトの中華スープ



【栄養】

エネルギー	182kcal
タンパク質	11.3g
脂質	11.0g
カルシウム	107mg
塩分	2.2g

【材料】4人分

豆腐 = 1丁、牛赤身薄切り = 100～150g、プチトマト = 10個、白ネギ = 7cm、パセリみじん切り = 少々、サラダ油・しょうゆ・酒 = 適量、片栗粉 = 大さじ1.5杯、スープ(1)、調味料(2)

【作り方】15分程度

豆腐は切って湯通しする。

牛肉は細切りにし、しょうゆ・酒で下味をつけ、片栗粉を少量まぶす。

鍋に油をしき、牛肉、トマトの順に加えて炒め、スープ(1)、豆腐を入れて調味(※2)して、片栗粉で濃いめのとろみをつける。皿に盛りつけし、白ネギ、パセリを散らす。

- 1 スープ = 水9カップ、鶏がら2、ショウガ、ネギでダシを取るが、市販のスープの素でも良い(塩分に注意)
- 2 塩 = 小さじ1.5杯、酒 = 大さじ1杯、しょうゆ = 極少々、コショウ = 少々



「いいお正月だったね。今年もよろしく」 撮影 = 西尾哲郎さん(米子市)

オシドリ

満員御礼

年末年始のオシドリ観察小屋はにぎやかでした。多い日には1日に4百人も。11月から3か月で1万人の入場があり、案内ボランティアは休日返上で対応。おかげでお客さんは大喜び。オシドリ5百羽、最高の姿を見せました。年末に町内の方が双眼鏡を寄贈してくださいました。地域の皆様に支えていただきました。感謝・感激です。

連絡先 オシドリグループ
事務局 森田(72 0271)

わたしの町

12月31日現在

(前月比)

人口	4,466人(+14)
男性	2,113人(+7)
女性	2,353人(+7)
世帯数	1,568戸(+1)

届出 12月11日～1月10日 敬称略

赤ちゃん誕生

おめでとーございませう

(出生児) (保護者)(性別)(住所)

12月	宮崎 隼正	利光・佳代	男の子	根雨
	荒木 真菜	憲男・直美	女の子	黒坂
	宮脇 玲香	慎治・めぐみ	女の子	三谷
	山縣さやか	正孝・玲子	女の子	久住

おくやみ

ご冥福をお祈りします

(氏名) (年齢) (住所)

12月	安藤 瑞峰	87歳	黒坂
	松本 良人	74歳	本郷
	松本 龜代	77歳	濁谷
	松本 純孝	79歳	門谷

2月1日から7日までは生活習慣病予防週間です。毎日の心がけが予防の第一歩。バランスのとれた栄養、適度な運動、十分な休養といった健康的な生活習慣を確立して、生活習慣病を予防しましょう。

今年の干支は申(さる)

平成16年は申年。

サルは様々な昔話にも登場しますし、ことわざや慣用語もたくさんあります。だれでも知っているのは「猿も木から落ちる」。これは、その道にすぐれている人でも、時には失敗をすることがあるというたとえ。木の上を得意とするサルならではのことわざです。

そもそも「サル」「去る」というイメージがよくないのでしょうか。「去る」は「去る」でも悪運だけは去ってほしいものですね。

編集後記

今年も元旦から活動開始。金持神社の初詣取材から広報の1年が始まりました。「発行するのが最優先だった私も今日まで3年目と突入。少しは余裕がほしくところですが、相変わらず締め切り追われています。今年も取材編集がんばりますので、よろしくお祈りします。◎